

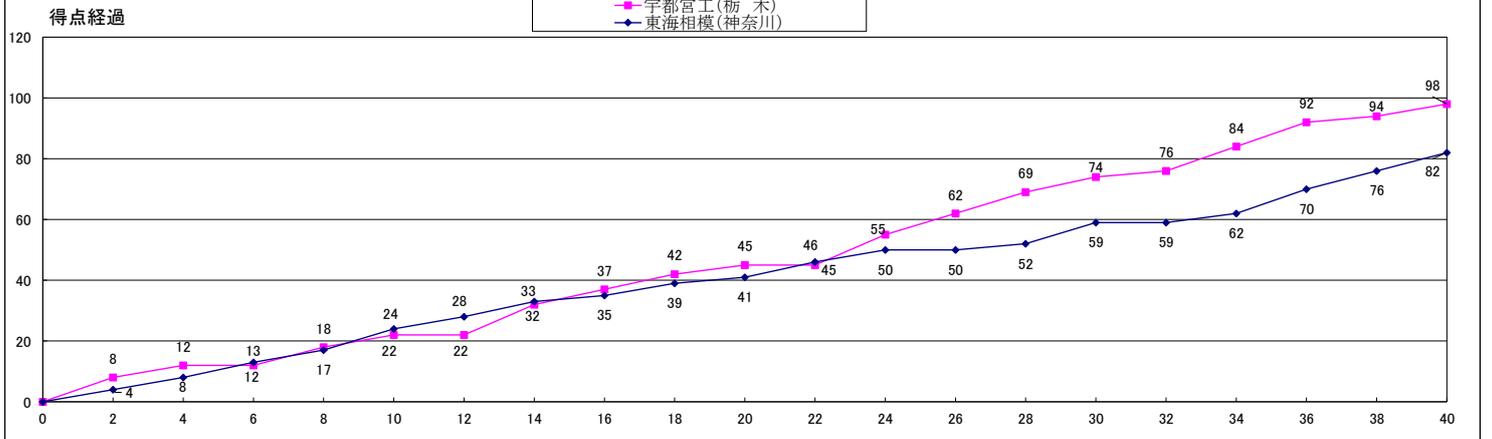
試合No.	D4	大会名	令和4年度関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第76回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会										
		期 日	令和4年6月4日(土)				会 場		小田原アリーナ				
男子1回戦	CC	佐田 幸一			U1		瓜田 真司		U2		小原 宏太		
		チーム名					1Q	2Q	3Q	4Q	延長	延長	合 計
		東海相模(神奈川)					24	17	18	23			82
		宇都宮工(栃 木)					22	23	29	24			98

東海相模(神奈川)

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
高萩 遥斗(CAP)	* 4	7	1	5	20%	2	2	100%	0	3	0%	0	3	3	3	0	3	4
清水 伯	* 5	22	3	6	50%	6	9	67%	1	4	25%	1	5	1	2	0	3	5
神戸 辰郎	* 6	17	0	0		7	18	39%	3	4	75%	2	11	0	0	2	2	4
横井 晴	* 7	11	0	3	0%	4	8	50%	3	4	75%	1	12	3	1	0	4	1
須永 幹也	* 8	18	3	9	33%	4	8	50%	1	1	100%	3	2	2	1	1	3	2
加藤 隆二	9																	
荒良木 雄登	10	4	0	0		1	1	100%	2	2	100%	2	0	0	0	0	0	2
佐藤 清春	11	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	1	0
田中 龍之介	12																	
東明 一心	13	3	0	8	0%	1	1	100%	1	2	50%	0	1	5	4	0	1	0
多田 一甲	14																	
白銀 雄剛	15																	
芝山 和哉	16																	
佐土原 瑠維	17																	
宮崎 颯人	18																	
コーチ 原田 政和																		
合計		82	7	31	23%	25	47	53%	11	20	55%	9	34	14	11	3	17	18

宇都宮工(栃 木)

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
高橋 広樹	4	2	0	0		1	1	100%	0	0		0	0	0	0	1	0	1
石岡 薫(CAP)	* 5	19	0	1	0%	8	9	89%	3	4	75%	0	2	6	4	0	2	4
鈴木 淳平	* 6	25	6	14	43%	3	5	60%	1	1	100%	2	7	1	2	0	2	2
新井 建	* 7	6	0	0		3	6	50%	0	2	0%	3	5	2	0	0	1	4
大島 拓朗	8	0	0	1	0%	0	1	0%	0	0		0	0	0	0	0	1	1
金田 貴寛	9																	
石川 晃希	* 10	28	1	1	100%	12	26	46%	1	2	50%	2	7	5	2	0	1	4
大谷 鴻太	* 11	15	3	7	43%	2	3	67%	2	2	100%	0	2	4	1	0	2	2
佐藤 壮流	12	0	0	0		0	0		0	0		0	1	0	0	0	3	0
山川 大翔	13	2	0	1	0%	1	1	100%	0	2	0%	0	0	1	0	0	1	1
齊藤 瑛士	14																	
長 憲吾	15	1	0	0		0	1	0%	1	2	50%	1	2	0	0	0	0	0
大里 知輝	16																	
平田 晃聖	17	0	0	1	0%	0	0		0	0		0	1	0	0	0	0	0
菊田 竜成	18																	
コーチ 千村 隆																		
合計		98	10	26	38%	30	53	57%	8	15	53%	8	27	19	9	1	13	19



戦評

1Q お互いにマンツーマンでスタート。序盤、宇都宮工業は#11の3pts、#10のインサイドと中外バランス良く得点していく。一方、東海相模は#7のドライブや#6の合わせなどインサイドでの得点で応戦。お互いにフィジカルとサイズをいかりリバウンド争いが熾烈で、一進一退の攻防が続く。東海相模が#13のスティールから速攻を決め、24-22で2点リードして1Qが終了。

2Q 立ち上がりはお互いシュートを決めきれず膠着状態が続いたが、東海相模#5のドライブ#6が合わせ得点。宇都宮工業は#6がタフショットながらも3ptsを沈め、#10もそれに続くなど、お互いに良い展開を繰り返す。宇都宮工業はディフェンスをゾーンへと変え連続得点に成功。東海相模はターンオーバーが続き苦しい展開が続く。宇都宮工業が勢いに乗るかと思われたが、東海相模がリバウンドからの速攻で粘り、東海相模41-45宇都宮工業で前半終了。

3Q お互いにマンツーマンで3Qスタート。東海相模が#8のバスケットカウントなどで好調の立ち上がり。宇都宮工業は#6が連続得点でチームを引っ張る。宇都宮工業がゾーンへとディフェンスを変えて#11、#10の3ptsにつなげる。東海相模は宇都宮工業の多彩なチェンジングディフェンスに苦しみ4:55、10点ビハインドでタイムアウト。宇都宮工業#10の勢いが止まらず、東海相模59-74宇都宮工業と宇都宮工業が15点リードで最終Qへ。

4Q 3Qの勢いのまま宇都宮工業が好調の立ち上がり。#10を中心に得点を重ねていく。一方、東海相模はゾーンを崩すことができず3分間、無得点が続いてしまう。#7がドライブからフリースローを獲得し粘ろうとするが、#6の連続3ptsなど宇都宮工業の勢いが止まらない。東海相模はプレスをしakerも流れを掴むことができず、82-98で宇都宮工業が勝利した。